

ご教示願います！ SDGsの取り組み方

2022年現在、新型コロナウイルス感染症拡大に相まったIoTや5Gの普及加速、LED照明に代表される省エネについての提案営業、脱炭素社会の実現（カーボンゼロ）、太陽光発電、蓄電池などエネルギー

取材をお願いし、SDGsとは何なのか、取り組む事のメリットなどを伺いし、組合員会社様のSDGs取り組み会社増へと繋げる記事を連載致します。

分野の発展、建築業界における働き方改革など、私達、電材業界が取り組まなければならない社会的・環境的貢献課題は、まさにSDGsの課題そのものです。

しかしながら、「SDGsを取り

組みたいが、どのようにして進めていけばよいか分からない」という声を多く頂いた事から、すでにSDGsに取り組まれている会社様へ緊急

なお、掲載順は、2021年6月に「会社名+SDGs」と組合員全社をグーグル検索し、SDGsの取り組みを確認出来た会社様へ取材願いの連絡を行い、取材許可を頂いた先着順で掲載させて頂いております。

第1回目の今回は、京都単組所属のニシムラ株式会社様を訪問し、蔵岡仁史代表取締役社長・廣瀬真史管理部部长にお話を伺いました。



インタビューにお答えいただいた蔵岡仁史社長(左)と廣瀬真史管理部部长(右)

企業活動の元を辿れば、 全てがSDGsに繋がる

SDGsを取り組もうと思っ
始めた訳ではなかった

事務局 ホームページを拝見し、発泡スチロールの減容機によるインゴット化(発泡スチロールを溶かし、運搬しやすい圧縮した形に加工する)を行っているの事ですが、どのような経緯で始まったのでしょうか？

蔵岡社長 京都の青年部会の研修会で意見交換会をしていた際に、「現場配達で、商品を現場に持ち込んだ後の梱包材処理の問題」が話題に上りました。

特に発泡スチロールは、大きく場所を取り、軽いため、風で飛ばされやすく、保管スペースも限られます。さらに、処理にも費用がかかるため、非常に困っていました。

何とかならないかと思案していたところ、現場の意見から、「発泡スチロール減容機」という機械があり、インゴット化した発泡スチロールを回収している設備も

近辺にあるという事を知りました。そこで取り組んでみようと思断したわけです。

事務局 SDGsとして取り組もうと思つて取り組んだ訳ではないと。

蔵岡社長 そうです。困っている事に対してブレインストーミング(限った時間内に自由に話し合つて、色々なアイデアを出す、立案企画の手法)で会議を進めていたところ、インゴット化を行う方向になりました。

この活動自体は、SDGsの目標で言えば、11の『住み続けられるまちづくりを』と12の『つくる責任つかう責任』が当てはまると思いますが、最初からどの目標について取り組もうかと考えた訳ではなく、目的意識を持った中でブレイン

ストミーングの根底が、SDGsの何かしらに引っかけたというだけの話です。

事務局 問題解決をしようとしたら、後からSDGsが付いてきたということですね。

事務局 SDGsとして取り組もうと思つて取り組んだ訳ではないと。

蔵岡社長 そうです。困っている事に対してブレインストーミング(限った時間内に自由に話し合つて、色々なアイデアを出す、立案企画の手法)で会議を進めていたところ、インゴット化を行う方向になりました。

事務局 SDGsは何をすればよいか分からぬという会社様にとっては、目から鱗な話だと思います。

蔵岡社長 これからSDGsを取り組もうとされている会社様には、新しく何かを始めようするのではなく、自社の活動の中で、SDGsに近いものを探す方が近道だと思います。業務を棚卸して、繋がる部分やきつかけがあったら、それをブラッシュアップするだけで十分な取り組み事例になりますし、胸張って取り組んでいると言えたら、社員さんの意識も変わると思います。

事務局 SDGsは何をすればよいか分からぬという会社様にとっては、目から鱗な話だと思います。

蔵岡社長 これからSDGsを取り組もうとされている会社様には、新しく何かを始めようするのではなく、自社の活動の中で、SDGsに近いものを探す方が近道だと思います。業務を棚卸して、繋がる部分やきつかけがあったら、それをブラッシュアップするだけで十分な取り組み事例になりますし、胸張って取り組んでいると言えたら、社員さんの意識も変わると思います。

事務局 SDGsを社員の皆様に浸透させるのは非常に難しさや時間がかかると思うのですが、どうやってSDGsを浸透させたのでしょうか？

蔵岡社長 浸透させたというよりも、この発泡スチロールを持ち帰るのも捨てるのも社員が抱えていた問題でした。勿論、この発泡スチロールを持ち帰る事は、今でも歓迎している訳ではありませんが、「これは私達が持ち帰る物なのか？」と疑問に思つて業務に取り組んでいた事が、「SDGsとして世界に貢献している」とポジティブな気持ちで仕事が出来るとうに変わりましたし、課題も解決出来ましたので、社員から反対する余地は無く、弊害の壁もありませんでした。

事務局 SDGsを社員の皆様に浸透させるのは非常に難しさや時間がかかると思うのですが、どうやってSDGsを浸透させたのでしょうか？

蔵岡社長 浸透させたというよりも、この発泡スチロールを持ち帰るのも捨てるのも社員が抱えていた問題でした。勿論、この発泡スチロールを持ち帰る事は、今でも歓迎している訳ではありませんが、「これは私達が持ち帰る物なのか？」と疑問に思つて業務に取り組んでいた事が、「SDGsとして世界に貢献している」とポジティブな気持ちで仕事が出来るとうに変わりましたし、課題も解決出来ましたので、社員から反対する余地は無く、弊害の壁もありませんでした。

事務局 長い目で見れば、費用対効果が出るという訳ですね。ちなみにSDGsを行う上で、デメリットはありましたか？

蔵岡社長 SDGsの情報を得る仕事が増えたという面はありますが、業務が増えたという感覚はありません。責務なので、損得よりもやらなければならない事です。自分達がやっていた事がクローズアップされ、企業イメージの向上に繋がりますので、明らかにメリットが大きいです。

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

事務局 業務については結びついていますが、

蔵岡社長 業績については結びついていますが、

会社規模は違っても、

SDGsは全社が取り組める

事務局 最後に伺います。「SDGsは少人数の会社が行った所で…」という声も聞こえますが、会社規模に違いはあると思われませんか？

蔵岡社長 関係ないと思います。例えば、個人で経営している会社で営業車が3台あったとして、3台電気自動車に買い換えるだけでSDGs達成率100%になります。では、これを当社(約270名)で行おうとすると、100台以上営業車があるので、一気に変えようとするのは難しい。

また、1000人以上いる会社で全員が飲み物をマイボトルに変えたら、ペットボトルの削減数は凄い数です。

どちらにしても成果を出しやすいメリットは存在するはずなので、各会社が個性を生かしたSDGsの活動を行えばよいと思います。人数の少ない会社の方がすぐ達成出来る事が多いはずなので、SDGsの取り組みについては有利だと思います。

発泡スチロールの減容工程



緩衝材の発泡スチロールを破碎、178℃以上の温度で溶かした後、水で冷やしてインゴット化。空ダンボール(70cm×70cm×90cm)5箱分の発泡スチロールが1個のインゴットになります。インゴットの大きさは12cm×12cm×88cm。容積で考えると、およそ1/174の減容となります。

例えば、ダンボール650箱の発泡スチロールをリサイクル場所に運ぶ場合、そのままの状態ではトラックが40台必要ですが、インゴット化すると130本となり、1台のトラックで運ぶことが可能です。

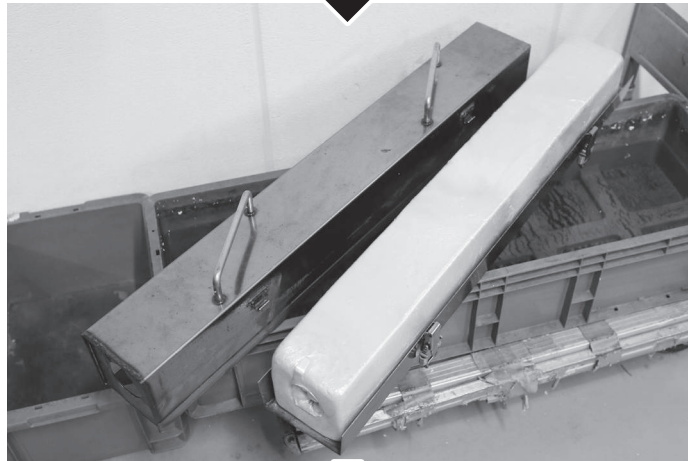
詳細は、ニシムラ株式会社

<http://nsmr.co.jp/corporate/sdgs-action.html>

をご参照下さい。

ニシムラ㈱様から伺った SDGsに取り組むポイント

1. 「SDGsの何を行えばよいか」と考えるよりも、まず、自社の抱えている課題をあぶり出し、次にSDGsと照らし合わせながら解決方法を探すと取り組みやすい。
2. 課題や課題解決を見つけるには、業務の棚卸を行うと見えてきやすい。
3. 「社員をどう巻き込むか？」ではなく、社員が抱えている課題をSDGsに繋がる課題解決業務として実行すると、社員達もSDGsを意識するようになり、かつ、業務に対して誇りを持つようになる。(SDGsに取り組む第1歩目としてオススメ)



※掲載順は、2021年6月に「会社名+SDGs」と組合員全社をグループ検索し、SDGsの取り組みを確認出来た会社様へ取材願いの連絡を行い、取材許可を頂いた先着順で掲載させて頂いております。

SDGsに取り組み、取材許可を頂ける会社様ございましたら、全社合わせて頂きます。令和4年8月末までに全日電材連・事務局・伊達までご連絡下さい。

(03-355417192)